

日本共産党

市民の願い実現を一貫して追求

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049



瀬川 貞清 議員

瀬川貞清議員は、この間、繰り返し取り上げてきた加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設について質問しました。

瀬川議員は、県内で新たに制度を導入した久慈市の例を取り上げ、「申請対象者が、難聴度が比較的低い、WHO（世界保健機構）が推奨する40デシベル以上になっっている」ことなどを紹介し、「奥州市でも制度導入に踏み込むべきだ」と質しました。

加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設を



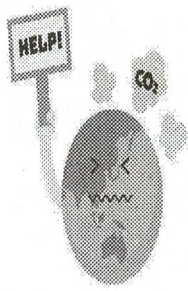
閉会した奥州市議会6月定例会で行なった、日本共産党市議団の一般質問内容についてお知らせします。高齢者福祉や気候変動対策、旧衣川荘、自動車の安全運転対策等の課題について取り上げた瀬川貞清議員と菅原明議員の質問内容を掲載します。

市単独での補助制度創設は難しい

市長

これに対し、倉成市長と担当者は、「現時点では、市単独事業での制度の創設は難しい。引き続き、高齢者が集まる様々な機会に健康相談や介護予防の取り組みを行うとともに加齢性難聴の補聴器購入助成事業について、国、県の動向を注視してまいりたい」と従来の答弁の繰り返しに終始しました。

気候危機対策について市独自の基本計画と実行計画の策定を



瀬川議員は、また、「気候危機対策」として倉成市長が約束していた「確かな根拠のある数字にもとづいて市独自の計画を作る」とした約束が「どこまで進んでいるか」質問しました。

温室効果ガス排出量を

57%削減(平成25年度比)

倉成市長は、令和5年3月に「第2次奥州市地球温暖化対策事務事業編」を策定し、温室効果ガス排出量を令和12年までに平成25年度比で57%削減することを目標としたことに言及。「『奥州市環境基本計画』の次期計画の策定が令和9年度までに予定されている」と述べました。

また、「現在の環境行政において、脱炭素社会の構築、地球温暖化対策は非常に大きな柱であることから、次期計画の策定作業においても必要な連携を検討したい」と答えました。

旧サンホテル衣川荘の再開見通しは?

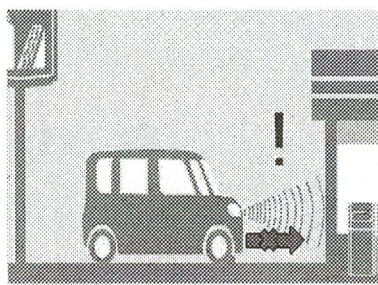
再開見通しは?



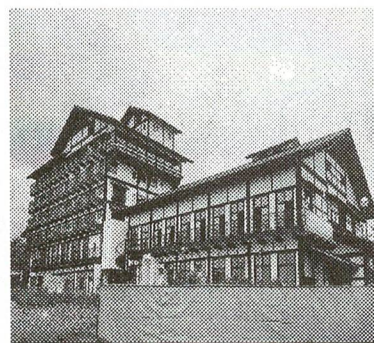
菅原 明 議員

菅原明議員は、旧国民宿舎衣川荘の民間譲渡しが昨年の7月に正式決定し、1年が経過することから、工事の進捗状況とオープンの見通しについて、市長に質しました。

自動車の急発進防止装置の取り付け事業の実施を!



また、菅原議員は高齢者ドライバーによる、アクセルとブレーキペダルの踏み間違い事故が多発し、社会問題になっていることを重視し、後付け急発進抑制装置の設置事業を当市でも取り組むべきと、市長にその考えを質しました。



改装工事中の
旧サンホテル衣川荘

これに対し市長は、「譲受者は今年7月の営業再開を目標に工事を進めてきたが、事業計画の検討に時間を要し、改修工事のスケジュールに遅れが生じた。現在、令和6年3月のオープンを目指し、工事を進めているところである」と答弁しました。

姉妹で市政・県政報告会

開催

6月30日、7月1日と上姉体、西姉体地区で千田みつ子県議、佐藤みゆき市議による市政・県政報告会を開催。報告の後、参加者の皆さんと意見交換をしました。

●マイナンバーカードが保険証と紐づけされるのは不安。
●新医療センターの計画は?
●知事選挙の様相は?
など、多岐にわたり、ある方は産婦人科の問題に言及。
「この地域で子どもが産めるようにしてほしい」との声に手田県議は、「立候補した時から一貫して取り組んできた。安心して産み育てられる地域にするため、市民の皆さんと力を合わせて頑張る」と決意を新たにしました。

